

第23回 和歌山県作業療法学会



テーマ

作業療法の“多色化(いろどり)”

－ひとりひとりの想いを形にする－

教育講演

作業療法の未来を見据えた2つの視点からの提言

教育講演
学校作業療法



塩津 裕康 先生

公立大学法人 名古屋市立大学

学校を共に支える作業療法
－参加に焦点をあてた実践－

子どもたち一人ひとりの「参加」を支え、
学校生活の可能性をひろげる作業療法の実践を考えます。

教育講演
司法作業療法



上原 央 先生

姫路医療専門学校

矯正施設における
作業療法の実践と可能性

矯正施設における作業療法の役割と、
対象者の再社会化支援に向けた実践の可能性を探ります。

それぞれの専門的知見から、作業療法の未来を見据えたメッセージをお届けします。
多職種・地域との連携、教育、臨床、研究など、幅広い視点からの示唆にご期待ください。

開催日

2026年

11月1日(日)

会場

宝塚医療大学

和歌山保健医療学部

ハイブリッド開催



現地参加

+



オンライン参加

※オンライン参加の詳細は
学会ホームページでご案内します

作業療法の可能性を
共に広げ、
多様な“いろどり”を
未来へつなげましょう

口述発表について

日頃の臨床・研究の成果を発表していただける
口述発表の場を設けています。
多くの皆さまのご発表をお待ちしております。



参加申し込み

2026年10月23日(金)まで



学会ホームページより
お申し込みください



※詳細は学会ホームページにてご案内します

学会のポイント



多職種・地域との連携

さまざまな専門職や地域とつながる場



学びの場の拡大

最新の知見や実践を共有する機会



ひとりひとりの想いを形に

多様な“いろどり”が輝く未来へ

タイムスケジュール

9:00	受付
9:30	開会式
9:40	一般演題
10:50	教育講演 塩津 裕康 先生
12:20	昼休憩
13:20	一般演題
14:30	教育講演 上原 央 先生
16:00	閉会式

開催日:2026年11月1日(日)

開催場所:宝塚医療大学
和歌山保健医療学部



学会長あいさつ



見形 紘子

宝塚医療大学
和歌山保健医療学部

このたび、第23回和歌山県作業療法学会の学会長を
拝命いたしました見形 紘子です。

本学会のテーマは、「作業療法の“多色化（いろどり）”—ひとりひとりの想いを形にする—」としました。

作業療法士は、医療・福祉・地域・教育・司法など、さまざまな分野において、それぞれの専門性を発揮し実践を積み重ねています。その一つひとつの実践は、かかわる対象者や環境、作業の内容によって異なる、多様な“色”を持っています。

この積み重ねが、作業療法の広がりと深まりを生み出しているのではないかと感じています。

また、私たちがかかわる対象者の方々も、それぞれに大切にしてきた生活や価値観、想いを持っておられます。病気や障害によって生活が制限される中でも、その人らしさや想いは失われるものではありません。作業療法は、その想いに寄り添い、作業を通して生活に働きかけることで、その人らしい生き方＝“色”を支えていく専門職であると考えています。

本テーマにおける“多色化（いろどり）”には、作業療法士それぞれの実践の色、そして対象者の方々の想い・生き方の色、その双方を大切にし、互いに混じり合いながら新たな価値を生み出していくという願いを込めております。

本学会が、多様な領域で活躍する作業療法士の実践が持ち寄られ、それぞれの“色”が混じり合うことで、より豊かで広がりのある学びの場となり、今後の和歌山県の作業療法の発展につながることを期待しています。そして、ここで共有される多くの“いろどり”が、今後の臨床や地域活動の中で活かされ、対象者の生活に新たな“いろどり”をもたらすことにつながれば幸いです。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。皆様とともに、実りある学びの時間を共有できることを楽しみにしております。

JR和歌山駅西口



大学まで
徒歩約8分



駐車場はありません

近隣のコインパーキングを
ご利用ください

